

## 茨城縣統計協會雜誌創刊を祝す

柳澤統計研究所總裁 伯爵 柳澤保惠

茨城縣の地南千葉縣に隣し北福島縣に接す、而して此の二縣は夙く統計協會の設置ありて孰れも其の機關雜誌を發行し居るに拘はらず本縣未だ此事無きを遺憾とせり、抑も本縣の南太平洋に面する所、古き鹿島の神域あり以て往昔既に東國樞要の地たりしを偲ぶに足る。蓋し其の地東北交通の要衝に位し徳川氏の如きは親藩を封じて水戸に居らしむ、水戸藩に義烈二公出で共に皇道に徇へ經國に盡す、水戸學の世に名ある所以なり、近代に至りては霞ヶ浦に海軍航空隊造營せられ我が國に於ける航軍の重鎮と稱せらる、本縣は此くの如き顯揚の地たりと雖も獨我が統計に關しては頗る振はざるの觀ありて本縣の爲め又斯學の爲め一大恨事と云ふを憚らざりしに、當事者大いに覺る所あり、昨年十月八日を以て茨城縣統計協會を設立し統計事務の刷新と統計智識の普及向上を畫し以て統計の民衆化を圖らんとするを聞き切に其の効果を期待せしに果せるかな創業未だ幾何ならずして今回其の機關雜誌を發刊するに至り余に一言を求めらる、案するに我が國明治維新前徳川氏の三百年間は決して惰眠を貪りてのみ居れるにあらず、内其の力を蓄積して竊に時期の至るを待ちしものにあらずなきか、故に一朝開國の氣運に乗ずるや僅々半世紀にして既に世界大國の班に列せり、我が茨城縣統計協會も亦此の概なしといふべからず、希くは之を往時に顧み現時に則して其の使命の重きを知り長足の發展あらんことを、余は刮目して之を待つものなり。



## 水戸の義公と頼山陽

……創刊の祝辭に代へて處懷を述べ……

統計學社々長 横山雅男

明治初年王政復古の鴻業は我が帝國史上に一大 Epoch-making を畫して燦として光明を放つてゐる。之を大化の革新と建武の中興とに比すれば實に雲泥の差で明治維新の大業は神武の創業に亞ぐべきものである。而して此の輝かしい一大偉績の成りしは幾多の遠因と近因とが錯綜凝結したる結果に外ならざるも私はその中に就いて國民精神の方面より二つを挙げたいと思ふ。

……二つとは水戸の義公と頼山陽……

との事績である。

古來英明の譽高き舊水戸藩主贈正一位大納言徳川光圀、即ち義公は徳川三家の一に列し、副將軍の要職に在るにも拘はらず、夙に皇室中心主義の説を固持し彰考館を置き一代の大儒を多く聘して所謂史は治亂を記し善惡を陳べ用つて勸懲の典に備ふる所以を實行されたのであつた。崇高遠大なる精神の持主たる義公は常州賀毗禮宮に王政復古を祈願して

國の中に蔓ぐる草根薊り断ちて君が千代田に返し奉らむ

の和歌一首に自己の信念を詠じ、或は水戸學祖となり、或は楠公墓畔に碑を建て、或は一管の筆を執りて最も早く

勤王思想を醗釀して王政復古の大業の先驅に當られたのであつた、願ふに後年贈位陞叙の榮典に浴し更に近年同家が公爵に昇られたのも主として義公の偉勳に因ることゝ察する、蓋し義公は獨り水戸の光であるのみならず抑も亦我が帝國の光である。

輦轂の下なる京都の加茂川畔の草廬に在りて日夕仰て三十六峰の好景を眺め、浩然の氣を養ひ、俯して鴨河の清流を見て塵懷を洗へる

### ……布衣の頼山陽は丁年を過ぐる……

幾何ならざるに日本外史を著はし、晩年日本政記を作りて民衆に呼びかけ諄々として皇室中心主義殊に尊王斥霸の自説を強述して國民精神の作興に努め、王政復古の促進に拍車をかけたのであつた、要するに山陽が獨力一枝の筆に頼りて明治維新の大業を促進せしめたのは暗に義公の芳躅を繼いたものと見做して可からう、而して義公は提封二十五萬石(後ち三十五萬石)の大名、而も徳川の親藩であり、山陽は草萊の貧儒であつたことは、如何にも興味あるコントラストである。

各府縣中私と統計關係の深厚なる地方は、その數頗る多いが茨城縣は比較的薄い、只先年竹内陸軍省副官と共に徵發物件表の調査實況を視察した際、茨城縣はその一つで縣廳に於て下岡書記官、高橋參事官に面談後、水戸町役場外二ヶ所を視察した、又往年水戸中學校、茨城縣師範學校で「教育と統計との關係」てふ演題で講演した、前者は菊池中學校長退職後、間もなき時、後者は松本師範學校長(現帝國圖書館長)が着任後一週間も立たぬ時であつた。斯の如く

### ……茨城縣の統計と私との關係……

は比較的薄いが、併し私の郷里舊藝藩祖淺野長政は常州眞壁にゐるので今の傳正寺は長政の菩提所、寺號は長政の院號であり播州赤穂藩始祖淺野長直は同地へ移封するまで常州笠間で五萬三千石を領してゐたのである。私が成童の頃教を受けた高木松居先生は藝藩の召に應ぜず終生布衣の身であつたが若き時諸國遊學の際水戸では藤田會澤等の諸先生より教を受けた關係上水戸學風であつた、若し余に父母なくば或は江戸の櫻田事件に加つてゐたかも知れぬと講義の際屢々聞かされた、又元祿年間赤穂浪士の復讐をものした書中、古來三大名著といはるゝその二つは即ち烈士報讐録で三宅觀瀾の著と赤穂四十七士傳で青山佩絃の作とである、その他水戸の學者中、義士を筆せるものが尠なくない、私は元祿快樂眞相録の著者福本日南の歿後、聊か義士の史實を研究する所があり、従つて水戸學者の義士の詩文等を讀んで常に敬意を表してゐる。さればたとへ茨城縣は私と統計の關係薄きも水戸に對する敬意の程度は甚だ濃かである。

時なる哉茨城縣は時代の要求に應じて曩に茨城縣統計協會を設立し、

### ……更に一步を進めて機關雜誌を……

發行せんとし乾會長より拙稿を需められた、私は淺學寡聞のものなれど明治十年以來身を統計の學と業とに委ねて夙夜怠らぬのである、尊王史家頼山陽の父春水は藝州賀茂郡の出身で私と郡を同うし、その長子山陽が譽高き義公の遺志を繼いで一管の筆で尊王思想を宣傳せる如く私は同郷人山陽の努力を現代化して我が帝國統計の發達に聊か微力を致さんとするものである、會員諸君よ、統計の改良進歩は國權の發動に待つもの多きも亦民間の盡力に頼らねばならぬものもある、統計協會の如きは乃ちその一つである、冀くは貴縣下の衆智衆力を綜合して事に當り以て古來燦として光を放てる義公の偉業に愧づることのないやうに、私は茨城縣統計協會の創立と機關雜誌の發行との吉報を知り、且つ乾會長よりの需めに依り病後靜養中醫師より筆硯に遠ざかれよとの注意あるにも拘はらず欣然本篇を草して恭しく祝意を表するものである。

——皇紀二千五百九十五年元旦——

## ある角度より視るたる

### 産業統計調査費國庫補助と調査員の報酬

——本稿を寄せて貴會の設立と貴誌創刊の祝意に代ふ——

栃木縣統計課長 加地 成雄

昭和二年度以降、毎年度道府縣のそれと共に市町村に對して交付せられつゝある産業統計費國庫補助金の支出は元來市町村に於ける産業統計調査費の全額を標的として、その何分の一かを負擔すべく一大理想の裡に實施の緒についたものであるが、打ちつゞく國家の財政難は容易に之が達成を許さず、今尙之が補助は僅かに産業統計調査員に支給せらるゝ報酬及之と同様の性質を有する經費にのみ限られてゐるのである。而してこゝに産業統計調査員は、現行農林、商工兩省統計報告規則に基づき、市町村長が任命したる産業統計調査員を指すものであり、従つて同規則によつて國家より市町村長に委任せられたる特定範圍の産業統計調査事務遂行、補助機關を示してゐることが解かるのである。特定範圍の調査事務なるからには、その範圍に屬する調査事務の全部なるも、一部なるとは固より問ふところではないかはりに、たとへ如何なる名稱、勞力をもつて従事しつゝありとするも、單に昭和四年商工省令に據る工場調査規則や、大正十四年商工省令に依る會社統計規則等に基づく調査事務であるとか、或は特に道府縣に於て添加擴張した産業調査統計事務のみに従事しつゝある者は全く無關係であることを忘れてはなら

ぬ。萬一産業統計調査員にして現行農林、商工兩省統計報告規則に定むる調査事務とその他の調査事務とを兼掌し兩者を通じて一定の報酬を支給せらるゝものあらば、國の補助は見積りによる前者の調査事務相當報酬に對してのみ支給せられ、後者に向つては波及せられぬものであることを知つて置く必要もあらう。

#### 【二】

補助が産業統計調査員に支給せらるゝ報酬及之と同様の性質を有する經費に向つてなされるものであることは前項既述の通りであるが、從來之を産業統計調査員の手當又は報酬に對してなされるゝ如く説かれた場合もある。手當なる文字には明治四十三年勅令に依る内國旅費規則中に見える赴任手當の如く報酬そのものとは全く無關係に使用される實例もあるが、こゝに國庫補助金の對象として説示せられてゐる手當は、現今の地方に於ける實情より歸納して、産業統計調査員に支給すべき報酬の代表的費目であることは否定することは出來ぬ。

仍つて「手當又は報酬」の趣旨は「手當又は其の他の報酬」にあることが思考されるであらうし、更らに之が實際の取扱上より見て余の解示は一層補助の對象を明確ならしむるものと信するものである。

報酬なる文字は市町村制にも示されてゐる通り、名譽職が其の職務に服する勞務の對價——反對給付である。さればたとへ産業統計調査員なる機關が、市町村制規定の委員にあらず、之が選定資格等にも相違点を有してゐるとは云ひ乍ら、事實は之と遜色なく、寧ろ同機關をして市町村吏員たらしめざる点に、之が地位並に制度を將來益々向上擴充せしむるの可能性があるやうに想はれる。従つて之に支給すべき報酬の性質は市町村制に準據すべきものと解釋するが、最も適當であらう。産業統計調査員に支給せらるべき報酬と同様の性質を有するものとは、獎勵費旌彰費のほか、特に費用辨償に屬するもの迄包含してゐるのであつて、市町村に依つては普通手當の配當標準中に戸數割、地積割等と並べて成績割を加へてゐるところもあるが、之などは當然と獎勵ある意味の旌彰費が姿をかへ

てゐるものと見ればよい。

【三】

併しどちらかと云へば成績割を調査員手當配當の基準中に併合することは、戸數又は地積を基準たらしめるに比し、手當額を常に不確定ならしむるの素質と機會を多分に有し、年々之を更改しなければ役立たぬ手數があるのでたとへこの施設をなすものと雖、獨立せしめて國の補助をうけてゐる市町村が多いのである。奈良縣磯城郡初瀬町に於て年内の成績良好者に支給しつゝある特別手當の如き、兵庫縣有馬郡八多村に於て一定の採点方法に依り一年中に示した成績優良者を必ず一名以上表彰する爲に計上しつゝある經費の如き、長野縣植科郡五加村に於て期限内報告者へ一報告毎に五錢宛支給しつゝある獎勵費の如き、いづれもそれである。

尙國庫の補助は必ずしも現金支給の報酬及之と同様の性質を有する經費にのみ支出さるゝものでなく、旌彰の爲の賞品購入費なども支障はない。又必ずしも直接調査員に支給せらるゝことを條件とせず、旌彰に對する諸經費をも認めてゐる。但し國庫の補助が現金支給を目標とせざるの趣旨と。豫め一定額を表示して計上せる現金支給の調査員手當を。任意に現金以外のものによらんとするが如き誤解とは、無論彼此混淆せぬやうにしなければならぬ。(昭和九、一二、一四稿)

## 意義深き年頭の企劃

千葉縣統計協會副會長  
千葉縣統計課長

平 山 滋 春

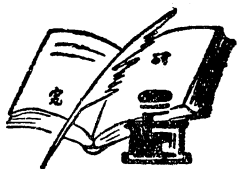
茨城縣統計協會設立せられ、茲に其の機關雜誌を發刊せらるゝに至つたことは、地方統計界のため、寔に欣快に堪へぬ所である。

惟ふに、我國現下の狀勢は、國際上最も重大なる危機に直面し、また國內農村は打ち續く經濟不況に加へ、客年の天災に依り、眞に未曾有の窮狀に遭遇する等、國家内外ともに多事多端なる國歩艱難の時局に立つてゐる。而して、一朝有事に備ふる國家總動員計畫の設定、或は農村振興の恒久的施設等については、統計が唯一の基本資料であつて、統計を離れて完全なる目的の達成は、到底望み得ない。その他、國家行政を始め、社會施設、學術研究等々、凡て統計的資料に憑らずして解決し得るもの、一としてないので、統計の使命は日を逐ふて加重せられ、其の刷新改善は現下緊要の問題となつてゐる。

併し、統計の刷新改善は、單に官廳の統計機關のみを以て、其の目的を達成することが出来ない。即ち調査の第一線に起つて活動すべき實務者の指導訓練を充分ならしめ、且つ民衆に統計思想の普及を圖ることに依つて、始めて此の國家的大事業の完成を期し、以て國家社會の要望に副ふことが出来るのである。

之が爲には統計協會の如き特殊団体を設立し、官廳の統計機關と相呼應して、互に其の足らざるを補ふことが最も必要であり、更にその目的を達成する上に、機關雜誌を廣く刊行せらるゝことは、一層有効適切である。殊に非常時局下に於ける、統計重要の昭和十年初頭に際して、この舉を見ることは、誠に意義深きを確信して止まない。

茲に貴會の設立並に創刊號の發行に當り、前途の發展を祈ると共に、我等の指標として地方統計界のため、貢獻あらんことを希望する次第である。



## 共同協力の要

茨城縣統計協會雜誌創刊號を祝して

長澤柳作

### 〔一〕

人類生活の基調は共同生活である、ロビンソンクルソーの如き孤立獨存の生活は單に稗史上の一個話であつて人間生活の本體でないことは謂ふ迄もない。個人主義思想の如何に全盛の時代であつても社會國家を離脱した人間生活はあり得ない。

人間と名の付く有機體が大氣を呼吸して地上に生存をなす限り共同の埒外に孤立することは出来ない。既に人間には共同が基調であり根柢である以上、共同を無視しては社會も國家も成立しない、況んや其の發展向上をや。共同と密接不可離の關係にあるは協力である、共同は體で協力は用である、共同は協りに依りて其意義を實現し、協力は共同に依りて始めて萬能である。

共同協力の力弱きものは社會にしても國家にしても有力強固となり得ない、これは一道府縣、一市町村に於ても同様であり、一家にしても一團體にしても亦之と異なる所はない、特に軍隊や艦隊に於ては一層強く要求するであらう。

### 二

事象の靜態動態を誤りなく描寫して人類共同生活の凡ゆるフォルムの發展向上の資となすが爲めには特に共同協力を必要とする。

本來共同協力の許に始めて可能なる仕事を共同協力を自覺せず、個々別々に何等の統制も連絡もなく漫然機械的に努力したとて所期の成果を挙げ難いのは當然であらう。若し五百五十萬の農家に眞に共同協力の自覺があつたら流々汗の結晶たる各種の農産物を生産費さへ償はない様な價格で賣り拂ひ窮乏に陥る様なことはないであらう。

一例を米に採るも米は六千萬國民の一日もなくてはならぬ生活必需品である、如何に豊作でも凶作でも毎年七千萬石は必ず消費するのである、然も販賣米は一の商品である、農家が一致して石卅圓以下では賣らぬと謂へば必ず夫れで賣れるのである、五百五十萬の農家が一致團結すれば、如何なる價格をも必ず維持することが出来るであらう。只個々の事情に迫られ目前の換金を急ぐ爲めに仲介商人に乗せられ、且つ安き外地米の移入に依る内地米價の壓迫に依り不當の價格や騰落を餘儀なくせられ重大なる米穀問題を惹起したが若し強力なる自治的統制々度が樹立

せられ農家の一致團結が出来たら正當なる米價の維持も安定も決して難事ではなくなり國家に多大の犠牲を拂はせなくとも済むであらう。

## 三

統計調査に於て同様である、各機關、各市町村、各調査員間の連絡協調がなければ到底所期の如き統計は得られなす。

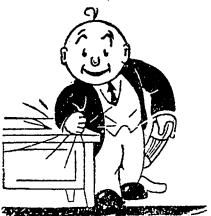
統計協會の重要な使命の一つは此共同協力を基調とし連絡協調一糸紊れざる統制の許に時代の要求する諸般の重要資料を得る爲めに預つて力ある一重要機關たることに存する。

各般調査の指導も統制も、統計に對する國民の理解も、統計思想の普及發達も擧げて其双肩に負ふに最も適當なる機關であるからである。

今や全國各道府縣の約半数に統計協會の設立を見、全道府縣に普及するも遠き將來ではない情勢となつたことは昭和二年率先して其の必要を提唱したことの無意義でなかつたことを回顧し益々此機運を助長し追て全國を打つて一丸となした道府縣統計協會聯合會又は全國的統計協會の設立を希望して止まぬと共に茨城縣統計協會が此重大使命の實現に不斷の努力を拂はれ、益々隆昌ならんことを祈り茲に新春の冒頭創刊號發刊に際し滿腔の祝意を表する次第である。



## 町村の統計事務を重視せよ



關本町役場内 池 田 穰

本年の稻作收穫の豫想高を争点として、今まで世人が無關心であつた統計なるものが、如何に實生活と國家行政上重要なものであるかを一般に認識せしめたことは何よりである。然し救済縣にもれたのを町村統計報告の杜撰なることに基因するが如く吹聴せられたことはまことに心外に堪えない。尤も現在の整備せられた町村統計に携る人の中にも、矢張り昔の様に机上で按配した概數も今の様に確實な資料に依つて出た數字も結果に於ては大した相違がないと云ふ者もあることは遺憾であるが、重要な水稻や、麥作や、養蠶等に就ては悉く役場の統計主任と調査員の不斷の努力に依つて「極めて眞實に近い統計」の實績をあげてゐることを確信するものがある。往々統計上の數字に對し一分一厘實際と違はぬことを期待してゐる人もあるがそれが抑も

### 「統計」を知らぬ者の言葉

であつて、如何に實地の周密なる調査に依つた處が農産物の收穫豫想の如きは人口の調査の様にピタリと行く筈はないのが當然である。況んや天日風雨の下にある作物の如きは、數日前の豊況も一夜の暴風に忽ち一變する場合がある、即ち何月何日現在に於て調査報告をする所以はこゝにある。水稻の實收高の如きに至りては多くの調査區、耕地の状況、品種の別、坪刈等々各團毎に細密なる條項の下に夫々調査したものを役場にて集計報告するのであつて、昔の様に雨の日を幸に「凡そこれ位だらう」式の仕事ではないのである。だからこれらの報告は九分九厘以上精確で、残りの何厘は神様にお任せする外はないのである。今から十年前迄は町村長の多くも期限毎にたゞ報告すれば事が足りたのであつて統計なるものは寧ろ厄介視された時代があつた。

### 然も國家行政上の基本

として重要であると云ふ概念で、調査員なども名譽的なものとして、各部落毎に有力者を囑託したので、いざ報告の期限が来ると役場から一々訪問して漸く作製したものである。また各種の調査に當つても何か税金をかける關係だらうと疑つて、當業者も仲々本當の事を云はなかつたのは數年前まであつたことである。私の町でも矢張り此様な経過を辿つたのであるが、數年以來主任として統計に興味を持つ正確な篤農家を書記に採用し、調査員の如きも漸次農學校出の人を依囑し縣の指導と相俟つて研究的に努力をつゞけられた結果、現在では正しい報告は勿論町としても統計に基礎を置いて施設をするし、町民も亦毎月の町報に掲載する各種の統計に留意する様になつたことは愉快である。たゞ年々複雑する仕事に對

## 祝 發 刊

鹿島郡統計事務研究會長

小澤 清 藏

統計は國民福祉の増進を計ると共に各般の政策施設の基礎資料たるのみならず、各種の企業計畫及び經營上の資料として、又學術の研究資料として必要欠くべからざるものにして文化の發達、國家振興の基をなすものである。若し其の統計

し、町村財政上報ゆるにうすき事は、まことに調査員に對し氣の毒に堪えないのである。以上私の町のことを取りまぜて

### 町村統計の實狀を述べ

たのであるが、要するに今次の問題を楔機とし、よく町村統計の實態を知得せられ、此國家的の事務に對する國、縣よりの補助を増額し、隠れたる調査員各位の努力に對し併せて遇するの方法を講ずることにせられたいと思ふ。同時に町村當局も一層意をこれにいたし、調査員に適任者を撰拔し、「正確第一」を信條とし官民協力せられたならば、かの種の論争も生ぜず、町村統計報告を不安なからしめ得ると信するのである。(九、二二、一〇)

調査にして疎漏杜撰なるときは百般の施設經營に齟齬を來たすにいたる、斯の如く統計は極めて重要性を帯ぶるものであるが、事甚だ無味乾燥に見え趣味に乏しくやゝもすれば粗略に流れ易き虞れあるは寔に遺憾にたへない。殊に現下我國は内外共に時局重大にして正確なる統計の要益々緊切の度を加へつゝあり、此秋本縣に於ては統計協會を設立し機關誌を發行し以て縣下各町村の連絡と統計の整備改善を圖らるゝ事は最も時宜に適したる計畫であつて、慶賀に堪へざる次第である。切に健全なる發達を望んでやまない。



## 實 務 道 場

# 統計調査の葉

【1】

統計が進歩し、統計が利用されることに  
よつてはしめて完全なる國策は生れる

### 工 藝 農 産 物 其 ノ 三

(市町村報告期一月十五日)

コンニャク芋ハゼ(ローソクの原料)のように二年乃至三年のち收穫するものゝ作付反別は凡て收穫します年開始の反別を調ぶるのである尙收穫皆無の土地でも一旦作付しました反別は收穫する年に調査するのであります。尙收穫したる年に乾燥しないで翌年又は他の町村に於て乾燥したるときは收穫しました年に乾燥數量に見積りまし

て生産地にて調査するのであります。ミワタは實子を含めました數量を調べるのである、一反歩收穫高は無收穫反別を控除しない作付反別に收穫高を除いて算出するのであります。

尙、参考までに、  
一、實綿の種子は大体左の割合である  
實綿百匁に付種子七十六匁位綿二十四匁位

### 家 畜

(市町村報告期一月末日限)

飼養戸數及頭數を十二月末日現在を以て調査し生産及斃死に在りては其の年中の事實を調査するのであります。馬に在りては馬籍簿に依つても調査が出来るのでありますが、併し馬籍が完全に整理してある町村は極めて少い状態であるから總て實際に飼養者に就き調査することゝしたい。

頭數調査の場合に、官有は除くとあ